

# 文化財 NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



## 文化財パトロール ～ 南会津町 ～ ①

文化財パトロールは、域内の文化財を後世に守り伝えていくことを目的に行われているものです。県から委嘱された文化財指導員が文化財の保存管理状況を確認し、助言をしています。今年度は、南会津町の県指定文化財（一部、只見町の県指定文化財あり。）を中心にパトロールを行っています。

8月28日（水）南会津町において、4点の文化財のパトロールを行いました。

### 銅製鰐口（塩江 鷲神社）

鰐口とは、神社や仏堂の正面軒先につり下げられた、参詣者が縄でたたいて鳴らすものです。下方の部分が、ワニの口に似ていることから名づけられたとされます。

この鰐口には、「田島郷」の言葉が刻まれており、「田島」という地名を確認できる最も古い資料となっているそうです。刻まれたのは、永享4年（1432年）とのこと。

現在は、塩江地区の方たちが大切に保管しており、今後の管理について話し合いました。



### 旧南会津郡役所

明治18年（1885年）、南会津郡役所として建てられました。擬洋風木造建築で、明治時代の当時としては、県内最大規模の郡役所でした。

昭和45年（1970年）に田島合同庁舎の建設に伴い、取り壊されそうになりましたが、保存を願う地元住民や専門家の運動により、価値が認められ今の場所に移築復元されました。

近年、結婚式前撮り写真の撮影にも人気の”映えスポット”です。



### 南泉寺 鐘楼門

鐘楼門とは、寺院などにおいて鐘が設置された門のことです。

この鐘楼門は、寛政6年（1794年）建立とのこと。鐘は、太平洋戦争の際の金属類回収令によって供出（回収）されましたが、昭和54年（1979年）に再び製作されました。春には、かやぶき屋根の鐘楼門とすだれ桜の素敵なコラボレーションを見ることができます。

パトロールの日は、ちょうど門の修繕、塗装が行われていました。住職さんや檀家さんの管理のおかげで、長く保存されてきたんですね。



### 南泉寺吉利支丹改申帳

江戸時代にキリスト教徒（吉利支丹）を取り締まるために作成された記録です。幕府がキリスト教を禁止し、信者を特定して改宗させるために使用されました。

安土桃山時代の会津城主、蒲生氏郷がキリスト教徒だったため、会津にはキリスト教徒が多かったとのこと。

この改申帳は、県内最古の宗旨改帳で大変貴重な資料だそうです。

